

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	学習基礎講座 Academic ability basic lecture	学年	1
講師名	高杉 学志	単位数	1
		コマ数	8
<p>教科目標</p> <p>数理力、国語力等、今まで身につけてきた一般学力をより高めていく事を目的とし以後の専門カリキュラムの理解度のアップにつなげる。</p>			
講 義 内 容	1	オリエンテーション	
	2	本の読み方①	
	3	本の読み方②	
	4	文章構成の基本	
	5	文章の書き方①	
	6	文章の書き方②	
	7	文章の書き方③	
	8	文章書き方～応用編	
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A G P A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	コミュニケーション技法 communication technique	学年	1
講師名	佐藤 慶知	単位数	1
		コマ数	8
教科目標 コミュニケーションの基本である、見る・聴く・話す・読む・書く力を身につけ、自己理解・他者理解への理解を進め、これから始まる専門教育の学習の基盤となる心構えを学ぶ。			
講 義 内 容	1	話し言葉コミュニケーション	
	2	書き言葉コミュニケーション	
	3	読み上手の技法	
	4	テーマ探しの技法	
	5	五感で書く技法	
	6	自分探しの技法	
	7	インタビューの技法	
	8	人間関係を深める技法	
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A G P A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	講読演習 I Professional Conduct I	学年	1
講師名	依田 美富士	単位数	1
		コマ数	15
<p>教科目標</p> <p>社会の仕組み、社会人としてのマナーを実際的な題材をもとに学習する。</p>			
講 義 内 容	1	学則・クラス運営について	
	2	社会人としての心得	
	3	新聞講読	
	4	マナー指導	
	5	現在の就職状況	
	6	レポート・科目終末対策	
	7	一般常識	
	8	新聞講読	
	9	保育福祉関連ビデオ鑑賞	
	10	マナー指導	
	11	3分間スピーチ	
	12	レポート・科目終末対策	
	13	実習報告	
	14	就職指導	
	15	マナー指導	
	16		

評価方法			
評 価 基 準	新 評 価 A G P A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
参 考 図 書	書籍名	著者名	
			発行所

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	講読演習Ⅱ Professional ConductⅡ			学年	1
講師名	佐藤 慶知	単位数	1	コマ数	15
教科目標					
社会の仕組み、社会人としてのマナーを実際的な題材をもとに学習する。					
講 義 内 容	1	学則・クラス運営について			
	2	社会人としての心得			
	3	新聞講読			
	4	マナー指導			
	5	現在の就職状況			
	6	レポート・科目終末対策			
	7	一般常識			
	8	新聞講読			
	9	保育福祉関連ビデオ鑑賞			
	10	マナー指導			
	11	3分間スピーチ			
	12	レポート・科目終末対策			
	13	実習報告			
	14	就職指導			
	15	マナー指導			
	16				

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	講読演習Ⅲ Professional ConductⅢ	学年	3
講師名	佐藤 慶知	単位数	1
		コマ数	15
<p>教科目標</p> <p>社会の仕組み、社会人としてのマナーを実際的な題材をもとに学習する。</p>			
講 義 内 容	1	学則・クラス運営について	
	2	社会人としての心得	
	3	新聞講読	
	4	マナー指導	
	5	現在の就職状況	
	6	レポート・科目終末対策	
	7	一般常識	
	8	新聞講読	
	9	保育福祉関連ビデオ鑑賞	
	10	マナー指導	
	11	3分間スピーチ	
	12	レポート・科目終末対策	
	13	実習報告	
	14	就職指導	
	15	マナー指導	
	16		

評価方法			
評 価 基 準	新 評 価 A G P A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
参 考 図 書	書籍名	著者名	
			発行所

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	パソコン Practical Computer Usage I			学年	2
講師名	佐藤 慶知	単位数	1	コマ数	15
教科目標					
現代社会のOA化に対応できるようになることを目標とする。特に基本的な操作については確実に学ぶ。					
講 義 内 容	1	基本操作Ⅰ			
	2	基本操作Ⅱ			
	3	基本操作Ⅲ			
	4	基本操作Ⅳ			
	5	基本操作Ⅴ			
	6	応用操作Ⅰ			
	7	応用操作Ⅱ			
	8	応用操作Ⅲ			
	9	応用操作Ⅳ			
	10	応用操作Ⅴ			
	11	演習Ⅰ			
	12	演習Ⅱ			
	13	演習Ⅲ			
	14	演習Ⅳ			
	15	演習Ⅴ			
	16				

評価方法				
評 価 基 準	新 評 価 A G P A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
参 考 図 書	書籍名		著者名	発行所

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	家庭支援論 Family Social Work	学年	2
講師名	佐藤 陽子	単位数	1
		コマ数	15
教科目標			
現在の家族を取り巻く社会環境における家庭生活、特にその人間関係のあり方を理解する。			
講 義 内 容	1	家族とは何か	
	2	現代家族と社会	
	3	家族機能の変化	
	4	現代の家族関係	
	5	ソーシャル・サポート・ネットワークと家族	
	6	地域における子育て支援の意義と活動	
	7	子育てサークルへの援助事例とその解説	
	8	子育て支援サービスの現状と課題	
	9	事例検討	
	10	子育てに対する相談援助活動	
	11	保育に関する相談・助言の事例	
	12	子ども虐待・子どもとその家族に対する援助	
	13	子ども虐待・ネグレクトの事例	
	14	養護・保育現場における関係機関、専門職の役割とネットワーク	
	15	ファミリーソーシャルワークの事例	
	16		

評価方法		
評 価 基 準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	
	著者名	
	発行所	

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	日本国憲法 Japanese Constitution			学年	1
講師名	楊 廻耕	単位数	1	コマ数	15
教科目標					
社会の変化と福祉を学び、福祉政策の理念・主体・手法、関連領域及び福祉サービスについて理解する。					
講 義 内 容	1	憲法とは何か			
	2	近代法治国家			
	3	人権カタログの発展			
	4	自由権①			
	5	自由権②(身体の自由等)			
	6	自由権③(プライバシー)			
	7	社会権①(ヴァイマール)			
	8	社会権②(参政権等)			
	9	人権の制約①(公共の福祉)			
	10	人権の制約②(批判)			
	11	平等原則			
	12	揭示手続きと人権			
	13	平和主義			
	14	憲法改正			
	15	総合、まとめ			
	16				

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A G P A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	情報処理入門 I Data Processing I	学年	1
講師名	森田 宜典	単位数	1
コマ数 15			
教科目標 コンピュータの歴史、種類、仕組みなど基本的なことを理解する。			
講 義 内 容	1	情報化社会	
	2	コンピュータの歴史	
	3	パソコンの歴史	
	4	コンピュータの種類	
	5	パソコンの種類	
	6	コンピュータのしくみ	
	7	ソフトウェア	
	8	コンピュータの利用形態	
	9	コンピュータの活用	
	10	コンピュータネットワーク	
	11	情報社会の問題点	
	12	演習①	
	13	演習②	
	14	演習③	
	15	演習④	
	16		

評価方法			
評 価 基 準	新 評 価 A G P A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
		単位認定	
参 考 図 書	書籍名	著者名	
			発行所

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	リトミックで遊ぼう	学年	2
講師名	松田 寛子	単位数	1
		コマ数	15
教科目標 音楽表現における子どもの発達と発達段階に応じた音楽遊びについて理解するとともに保育者に必要な柔軟性にとんだ発想力・表現力・指導力を育てる。			
講 義 内 容	1	運動と運動遊び マット①	
	2	運動と運動遊び マット②	
	3	運動遊びと発達 マット①	
	4	運動遊びと発達 マット②	
	5	幼児の体づくり マット①	
	6	幼児の体づくり マット②	
	7	社会性の発達 マット①	
	8	社会性の発達 マット②	
	9	その他の運動遊び①	
	10	その他の運動遊び②	
	11	その他の運動遊び③	
	12	その他の運動遊び④	
	13	その他の運動遊び⑤	
	14	その他の運動遊び⑥	
	15	テスト	
	16		

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A G P	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	児童家庭福祉 Child Family Welfare			学年	2
講師名	佐々木 明美	単位数	2	コマ数	15
教科目標					
現在の家族を取り巻く社会環境における家庭生活、特にその人間関係のあり方を理解する。					
講 義 内 容	1	児童福祉の意義			
	2	児童家庭福祉へ			
	3	児童の生活環境			
	4	児童と家庭・地域			
	5	児童福祉法			
	6	児童福祉機関			
	7	児童福祉施設			
	8	児童福祉施設とサービス			
	9	エンゼルプランとその後			
	10	児童福祉の歴史(日本)			
	11	児童福祉の歴史(欧米)			
	12	児童福祉と専門職①			
	13	児童福祉と専門職②			
	14	今後の児童福祉①			
	15	今後の児童福祉②			
	16				

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	健康科学 Health Science			学年	1
講師名	依田 美富士	単位数	1	コマ数	8
教科目標					
健康の意義及び健康に影響する諸因子を理解する。					
講 義 内 容	1	スポーツ概念の変遷とスポーツ観			
	2	余暇社会と地域社会の再建			
	3	様々な現場における			
	4	学校・職場でのスポーツ活動の現状			
	5	商業・地域でのスポーツ活動の現状			
	6	WHOと健康概念の変遷			
	7	現代社会における健康阻害要因			
	8	幼児期の体力づくりの在り方について			
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				

評価方法				
評 価 基 準	新 評 価 A G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
		単位認定		
参 考 図 書	教科書及び	書籍名	著者名	発行所

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	現代社会と福祉 Modern society and welfare	学年	1
講師名	伊藤 宏二	単位数	4
		コマ数	30
教科目標 社会の変化と福祉を学び、福祉政策の理念・主体・手法、関連領域及び福祉サービスについて理解す			
講 義 内 容	1	社会の変化と福祉	
	2	福祉と福祉政策	
	3	福祉の思想と哲学	
	4	社会政策と福祉政策	
	5	福祉政策の発展過程	
	6	少子高齢化時代の福祉政策	
	7	福祉政策における必要と資源	
	8	福祉政策の理念・主体・手法	
	9	福祉政策の関連領域	
	10	社会福祉制度の体系	
	11	福祉サービスの提供	
	12	福祉サービスと援助活動	
	13	福祉政策の国際比較	
	14	福祉政策の課題と展望①	
	15	福祉政策の課題と展望②	
	16		

評価方法			
評 価 基 準	新 評 価 A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	} 単位認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	社会的養護 Social protection	学年	1
講師名	佐々木 明美	単位数	2
		コマ数	15
教科目標 児童養護の意義や理念について考察し原則を理解した上で社会的養護の具体的展開について方法やシステムを学ぶ。			
講 義 内 容	1	児童養護における家庭と社会	
	2	児童養護の意義と目標	
	3	児童養護の歴史①	
	4	児童養護の歴史②	
	5	児童養護の原理	
	6	社会的養護の体系①	
	7	社会的養護の体系②	
	8	施設養護の基本原則	
	9	施設養護の内容	
	10	児童養護を担う専門職	
	11	児童養護のソーシャルワーク①	
	12	児童養護のソーシャルワーク②	
	13	社会的養護の課題	
	14	児童養護と地域社会	
	15	児童養護とこれからの家庭家族	
	16		

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A G P	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	子どもと社会 Children and Society			学年	3
講師名	佐々木トモ子	単位数	1	コマ数	15
教科目標					
幼児教育現場の実情、子育て支援や保護者の対応、実習とは何か等実習前に理解すべきことを中心に学習する。					
講 義 内 容	1	子どもを取巻く環境の変化			
	2	子どもを理解するために			
	3	幼児理解の基盤となるもの			
	4	地域社会が抱える子育て問題			
	5	地域と連携した子育て支援			
	6	女性の社会進出と子育て			
	7	子ども・家庭支援及び家庭との連携			
	8	保護者が抱える問題①			
	9	保育園、幼稚園、認定子ども縁の子育て支援			
	10	保育園、幼稚園、認定子ども縁の子育て支援②			
	11	保護者が抱える問題②			
	12	現場における保護者対応の実際			
	13	保護者対応の実践			
	14	保護者対応の実践②			
	15	まとめ			
	16				

評価方法			
評 価 基 準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
参 考 図 書	教科書及び		
	書籍名	著者名	
			発行所

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	教育原理 Principle of Education			学年	1	
講師名	宋 美蘭	佐々木明美	単位数	1	コマ数	15
教科目標						
教育の一般的原理をその最も基礎の部分において学ぶ。						
講 義 内 容	1	教育とはなにか				
	2	教育の目的と条件				
	3	教育の制度と行政				
	4	教育の内容				
	5	教育の方法① 学習指導				
	6	教育の方法② 生活指導				
	7	教育評価				
	8	子どもの自発性と押し付け				
	9	系統学習と生活単元学習				
	10	教科教育①				
	11	教科教育②				
	12	教科教育③				
	13	教科教育④				
	14	教科教育⑤				
	15	教科教育⑥				
	16					

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	教育相談 Educational Counseling			学年	1
講師名	新井 翔	単位数	1	コマ数	15
教科目標					
カウンセリング等の相談法は臨床心理学の技法であり、その理論を学ぶ。					
講 義 内 容	1	イントロダクション			
	2	教育相談			
	3	カウンセリング基礎①			
	4	カウンセリング基礎②			
	5	教室で生かすカウンセリングマインド①			
	6	教室で生かすカウンセリングマインド②			
	7	実践例①			
	8	実践例②			
	9	担任の役割			
	10	養護教諭の役割			
	11	専門家との連携			
	12	不登校			
	13	いじめ			
	14	母親への対応			
	15	まとめ			
	16				

評価方法		
評 価 基 準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	教育方法論			学年	1
講師名	依田 美富士	単位数	1	コマ数	15
教科目標					
乳幼児の心身の発達に関する理解を深め保育指導に関する知識・技術を習得する。					
講 義 内 容	1	新しい保育観と「援助」について			
	2	遊びと保育について			
	3	「応答的保育」とはどんな保育か			
	4	言語的応答性について			
	5	「アクティビティ」とは何か			
	6	「援助」と「指導」を比べる			
	7	「環境」と「経験」の違い			
	8	「自ら学ぶところ」とは			
	9	保育とはなにか			
	10	今の子どもの育ちの状態①			
	11	今の子どもの育ちの状態②			
	12	現代の子育てと今後の課題			
	13	乳幼児の発達の特徴とおとなの関わり方①			
	14	乳幼児の発達の特徴とおとなの関わり方②			
	15	乳幼児の発達の特徴とおとなの関わり方③			
	16				

評価方法			
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
		単位認定	
参 考 図 書	教科書及び		
	書籍名	著者名	
			発行所

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	教育課程総論 School Curriculum			学年	1
講師名	依田 美富士	単位数	2	コマ数	15
教科目標					
児童の実態に則して自主的に教育計画を編成することができるような基礎的な能力を養う。					
講 義 内 容	1	生涯学習における幼児期の意義について考える			
	2	幼児期の特質と教育課程のあり方(教育課程とは何か)			
	3	幼稚園教育と保育所保育に共通する保育のあり方			
	4	教育課程編成の基準			
	5	幼児教育課程の基本について 幼稚園教育要領理解①			
	6	幼児教育課程の基本について 幼稚園教育要領理解②			
	7	幼児教育課程の基本について 幼稚園教育要領理解③			
	8	幼児の姿を理解する			
	9	幼稚園の教育目標とその基本的な性格について			
	10	教育課程編成の手順			
	11	幼児教育における指導とは(教師の役割について)			
	12	指導計画の意義について			
	13	指導計画の作成について①			
	14	指導計画の作成について②			
	15	指導計画の作成について③			
	16				

評価方法				
評 価 基 準	新 評 価 A (G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
		単位認定		
参 考 図 書	教科書及び	書籍名	著者名	発行所

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	教職概論			学年	1
講師名	依田 美富士	単位数	2	コマ数	15
教科目標					
いじめ、不登校、学級崩壊等で教育病理が激しくなり、教師に対する期待や責任が増大する中、それに応える教師として求められることを育てるカウンセリングマインドの育成する。					
講 義 内 容	1	教師の歴史①			
	2	教師の歴史②			
	3	教師の資質①			
	4	教師の資質②			
	5	教師の力量			
	6	教師観①			
	7	教師観②			
	8	教師による懲戒			
	9	教師と父母組織			
	10	教師の安全配慮義務			
	11	学校の情報公開			
	12	教師と教育行政			
	13	教育実習①			
	14	教育実習②			
	15	教育実習③			
	16				

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	保育原理 Principles of Child Care			学年	2
講師名	平賀 しげ	単位数	2	コマ数	15
教科目標					
保育とは何かについて考える。歴史・発達・課題・目標・内容等具体的な保育について学ぶ。					
講 義 内 容	1	保育とは何か			
	2	幼児教育思想の系譜①			
	3	幼児教育思想の系譜②			
	4	幼児教育思想の系譜③			
	5	発達と保育①			
	6	発達と保育②			
	7	保育制度と保育機関①			
	8	保育制度と保育機関②			
	9	保育の目的と目標			
	10	保育の内容			
	11	保育カリキュラム①			
	12	保育カリキュラム②			
	13	障害児のための統合保育①			
	14	障害児のための統合保育②			
	15	幼児理解と保育の評価			
	16				

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	児童文化 Arts and Culture of Children			学年	2
講師名	井口 美和	単位数	1	コマ数	8
教科目標					
子どもによりよい文化環境を与えることを目的とした領域「絵本」を中心に紙芝居・ペープサートも学ぶ					
講 義 内 容	1	児童文化とは			
	2	遊びとスポーツ			
	3	造形と音楽			
	4	お話しと劇 I			
	5	お話しと劇 II			
	6	テレビと映画			
	7	本と雑誌			
	8	本と雑誌 II			
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	乳児保育 Infant Care			学年	3
講師名	佐藤 慶知	単位数	1	コマ数	8
教科目標					
乳児の保育は特殊な分野である。その特異性を中心に学ぶ。					
講 義 内 容	1	乳児保育とは			
	2	応等保育とは			
	3	相互作用と応等保育			
	4	生命誕生			
	5	新生児について			
	6	生後1～3ヶ月			
	7	生活リズム			
	8	生後3～6ヶ月			
	9	ことば、寝る子は育つ、離乳食			
	10	ピアジェの発達段階			
	11	生後6～9ヶ月、脳の発達			
	12	生後9～12ヶ月			
	13	生後1～2年、豊かな環境			
	14	子どもと人との関わり			
	15	子どもと安全			
	16				

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	子どもの保健 I Child Health I			学年	1
講師名	佐々木 敬子	単位数	1	コマ数	15
教科目標					
小児の正常な身体発育を保健の視点から学ぶ。					
講 義 内 容	1	小児の特性			
	2	小児の健康と小児保健の意義			
	3	小児の成長と発達①			
	4	小児の成長と発達②			
	5	小児の成長と発達③			
	6	小児の成長と発達④			
	7	成長発達と健康の評価①			
	8	成長発達と健康の評価②			
	9	小児期の栄養と食生活①			
	10	小児期の栄養と食生活②			
	11	小児期の栄養と食生活③			
	12	健康な小児の養護①			
	13	健康な小児の養護②			
	14	健康な小児の養護③			
	15	健康な小児の養護④			
	16				

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	子どもの保健Ⅱ Child's healthⅡ	学年	2
講師名	佐々木敬子	単位数	1
		コマ数	8
教科目標			
小児保健の講義内容を実習を通して理解する。			
講 義 内 容	1	乳幼児の観察	
	2	衣服の着脱	
	3	身体計測	
	4	体温測定	
	5	呼吸・脈拍測定	
	6	沐浴	
	7	異常症状の測定	
	8	心肺蘇生法	
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書 及 び 教 科 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	教育心理学 Educational Psychology	学年	1
講師名	新井 翔	単位数	1
		コマ数	15
<p>教科目標</p> <p>自己と他者の理解のために人間の心や行動の基礎にある原理を学ぶ。</p>			
講 義 内 容	1	心理学とは	
	2	概念の学習①	
	3	概念の学習②	
	4	概念の学習③	
	5	人格理論①	
	6	人格理論②	
	7	心理検査	
	8	グループワーク①	
	9	知能と知能検査	
	10	記憶	
	11	思考の変化 学習理論①	
	12	思考の変化 学習理論②	
	13	グループワーク②	
	14	内発的動機づけ等	
	15	教育心理学とは	
	16		

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	乳幼児心理学 Infant Psychology	学年	2
講師名	小林 郁生	単位数	1
		コマ数	15
教科目標 乳幼児の行動・言語等の発達と精神過程を理解する。			
講 義 内 容	1	歴史的背景	
	2	遺伝と環境	
	3	人間の一生・ライフサイクル	
	4	発達理論についての視点	
	5	愛着理論	
	6	知覚の発達	
	7	見る世界	
	8	認知の発達	
	9	知の誕生と発達-ピアジェの発達段階	
	10	赤ちゃんは「思考」が出来る	
	11	順序尺度	
	12	記憶の発達	
	13	情緒の発達	
	14	ことばの発達	
	15	遊びの育ち	
	16		

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	発達心理学 Developmental Psychology	学年	2
講師名	小林 郁生	単位数	1
		コマ数	15
教科目標			
乳幼児から老人までの心理を考え、特に乳幼児の精神発達とその教育について考える。			
講 義 内 容	1	発達心理学の課題	
	2	発達理論についての視点	
	3	初期の発達理論	
	4	現代の発達理論	
	5	言語の発達	
	6	知的発達	
	7	環境と発達	
	8	感情の発達	
	9	社会性の発達	
	10	道徳性の発達	
	11	青年期の発達	
	12	青年期の心理的特徴	
	13	成人期の生活	
	14	老齢期の生活	
	15	現代社会と発達	
	16		

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A G P A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	青年心理学			学年	3
講師名	小林 郁生	単位数	1	コマ数	15
教科目標					
乳児幼児期から、青年期までを総合的にとらえ発達の過程とアイデンティティの4形成について理論的に学ぶ。					
講 義 内 容	1	現代の青年の特徴			
	2	エリクソンの漸成理論			
	3	青年期の身体発達			
	4	青年期における家族関係と自立			
	5	青年期の異性関係の発達について			
	6	心理的離乳とは			
	7	青年期の道徳性の発達について			
	8	携帯文化が青年期にもたらす影響			
	9	青年期の自殺について			
	10	青年期の友人関係の発達について			
	11	統合失調症			
	12	気分障害			
	13	アイデンティティの拡散			
	14	パーソナリティ障害			
	15	青年期の親への反抗について			
	16				

評価方法			
評 価 基 準	新 評 価 A G P A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
参 考 図 書	書籍名	著者名	
			発行所

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	子どもの食と栄養 Child's food and nourishment	学年	2
講師名	飯田 久美子	単位数	1
		コマ数	15
教科目標 乳児幼児期から、青年期までを総合的にとらえ発達の過程とアイデンティティの4形成について理論的に学ぶ。			
講 義 内 容	1	小児の発育 発達と食生活①	
	2	小児の発育 発達と食生活②	
	3	栄養食品の基礎知識①	
	4	栄養食品の基礎知識②	
	5	妊娠 胎児期の食生活	
	6	乳児期の食生活	
	7	幼児期の食生活	
	8	保育所給食とその実際	
	9	小児期の健康異常と食生活	
	10	障害をもつ子どもの食生活	
	11	食育教材①	
	12	食育教材②	
	13	食育教材③	
	14	食育教材④	
	15	調乳実習	
	16		

評価方法			
評 価 基 準	新 評 価 A (G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
参 考 図 書	書籍名	著者名	
			発行所

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	障がい児保育 Handicapped Child Care	学年	2
講師名	佐藤 美子	単位数	1
		コマ数	8
教科目標			
講 義 内 容	1	障害児保育の概念	
	2	発達と障害の意味	
	3	障害の種類と特質の理解	
	4	障害児保育のすすめ方。ポイント①	
	5	障害児保育のすすめ方。ポイント②	
	6	障害児保育のすすめ方。ポイント③	
	7	障害をもつ子の家庭対策と子育てネットワーク	
	8	障害児保育担当者に求められるもの(専門性)	
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	高齢者福祉論 Welfare for the Elderly I	学年	3
講師名	佐藤 慶知	単位数	1
コマ数 15			
<p>教科目標</p> <p>老人について理解しその生活上の諸問題に対する老人福祉サービスについて学ぶ。</p>			
講 義 内 容	1	高齢者の動向と問題点①	
	2	高齢者の動向と問題点②	
	3	介護保険制度の概要①	
	4	介護保険制度の概要②	
	5	介護保険制度の概要③	
	6	介護保険制度の概要④	
	7	高齢者の福祉制度①	
	8	高齢者の福祉制度②	
	9	高齢者の保健・医療サービス①	
	10	高齢者の保健・医療サービス②	
	11	介護計画の実際①	
	12	介護計画の実際②	
	13	介護計画の実際③	
	14	介護計画の実際④	
	15	介護計画の実際⑤	
	16		

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A G P A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	造形表現 (指導法) Expression			学年	1
講師名	早川 尚	単位数	1	コマ数	8
教科目標					
表現活動に必要な素材研究・援助指導を行える能力を養成。幼児の表現力を引き出す手段を考える。					
講 義 内 容	1	立体図形の製作の基本①			
	2	立体図形の製作の基本②			
	3	紙粘土による造形表現①			
	4	紙粘土による造形表現②			
	5	モビール製作①			
	6	モビール製作②			
	7	シルクスクリーン指導①			
	8	シルクスクリーン指導②			
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				

評価方法				
評 価 基 準	新 評 価 A (G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
参 考 図 書	書籍名		著者名	発行所

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	保育・教職実践演習 Child care and teaching job Practice			学年	3
講師名	依田 美富士	単位数	1	コマ数	15
教科目標					
自主的に教育計画を編成することができるようになるために必要な基礎的知識を学ぶ。					
講 義 内 容	1	オリエンテーション			
	2	分野所属の決定			
	3	演習報告に関する注意事項			
	4	研究発表スケジュール			
	5	要旨について			
	6	口頭発表レイアウトについて			
	7	発表原稿について			
	8	本論文レポート作成などについて			
	9	本論文レポート作成などについて			
	10	口頭発表準備①			
	11	口頭発表準備②			
	12	口頭発表準備③			
	13	発表パワーポイント準備			
	14	発表パワーポイント完成			
	15	発表			
	16				

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	ピアノ I Piano I			学年	1
講師名	柴山 由紀 島田 憲子 立石 みく	単位数	2	コマ数	30
教科目標					
鍵盤楽器の基本的奏法を身につけ、音楽教育の教材として使いこなせるようにすることを目標とする。					
講 義 内 容	1	バイエル1～11			
	2	バイエル12～23・和音奏1			
	3	バイエル24～35・和音奏2・マーチ1			
	4	バイエル36～42・マーチ2・3・4			
	5	バイエル43～46和音奏3・マーチ5・6			
	6	バイエル47～51・マーチ7・8			
	7	バイエル52～57・マーチ9			
	8	バイエル58～64マーチ10・11			
	9	幼児音楽①			
	10	幼児音楽②			
	11	幼児音楽③			
	12	幼児音楽④			
	13	ブルグミュラー①			
	14	ブルグミュラー②			
	15	ブルグミュラー③			
	16				

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A G P A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	ピアノⅡ PianoⅡ			学年	2
講師名	柴山 由紀 島田 憲子 立石 みく	単位数	2	コマ数	30
<p>教科目標</p> <p>鍵盤楽器の基本的奏法を身につけ、音楽教育の教材として使いこなせるようにすることを目標とする。</p>					
講 義 内 容	1	バイエル1～11			
	2	バイエル12～23・和音奏1			
	3	バイエル24～35・和音奏2・マーチ1			
	4	バイエル36～42・マーチ2・3・4			
	5	バイエル43～46和音奏3・マーチ5・6			
	6	バイエル47～51・マーチ7・8			
	7	バイエル52～57・マーチ9			
	8	バイエル58～64マーチ10・11			
	9	幼児音楽①			
	10	幼児音楽②			
	11	幼児音楽③			
	12	幼児音楽④			
	13	ブルグミュラー①			
	14	ブルグミュラー②			
	15	ブルグミュラー③			
	16				

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	音楽を学ぼう Let's study music	学年	1
講師名	柴山 由紀	単位数	1
		コマ数	15
教科目標 幼児の音楽に必要な基礎的知識・理論を学ぶ。			
講 義 内 容	1	音楽史と楽譜・楽譜の基礎知識	
	2	拍子とリズム・音符と休符	
	3	付点音符と様々なリズム・音の高低と譜表	
	4	連譜・シンコペーション・強起と弱起記号	
	5	変化記号(臨時記号と強調) 音程1(全音と半音)	
	6	音程2 速度・強弱記号	
	7	音階と調(長調)・調号	
	8	音階と調(短調)・調号	
	9	調の相互関係	
	10	和音と響きと分類・反復記号	
	11	主要三和音・様々な記号	
	12	格調の主要三和音	
	13	コードネーム	
	14	子どもの歌を用いた伴奏づけ	
	15	筆記試験対策・リズム打ちの試験	
	16		

評価方法	
評 価 基 準	新 評 価 A
	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
	B(80～89点):教科目標達成において優れている。
	C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
	D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
参 考 図 書	書籍名
	著者名
	発行所

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	声楽と子どもの歌 I Vocal Music I			学年	1
講師名	竹花 理恵子	単位数	1	コマ数	8
<p>教科目標</p> <p>声楽の基礎・基本を習得し幅広い音楽的教養を探究しながら幼児の音楽教育法について学習する。</p>					
講 義 内 容	1	コーリュブンゲン1～14 コンコーネ1 カン			
	2	コーリュブンゲン15～19 コンコーネ1 早春賦			
	3	コーリュブンゲン20～25 コンコーネ2 野ばら			
	4	コーリュブンゲン26～30 コンコーネ2 caro mio bew			
	5	コーリュブンゲン20～25 コンコーネ2 野ばら			
	6	コーリュブンゲン1～30 コンコーネ1,2 野ばら caro mio bew			
	7	コーリュブンゲン31～34 コンコーネ3 あかとんぼ			
	8	コーリュブンゲン35～38 コンコーネ4 タやけこやけ			
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
		単位認定
参 考 図 書	書籍名	著者名
		発行所

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	声楽と子どもの歌Ⅱ Vocal MusicⅡ	学年	2
講師名	竹花 理恵子	単位数	1
教科目標		コマ数	15
<p>声楽の基礎・基本を習得し幅広い音楽的教養を探究しながら幼児の音楽教育法について学習する。</p>			
講 義 内 容	1	コーリュブンゲン1～14 コンコーネ1 カン	
	2	コーリュブンゲン15～19 コンコーネ1 早春賦	
	3	コーリュブンゲン20～25 コンコーネ2 野ばら	
	4	コーリュブンゲン26～30 コンコーネ2 caro mio bew	
	5	コーリュブンゲン20～25 コンコーネ2 野ばら	
	6	コーリュブンゲン1～30 コンコーネ1,2 野ばら caro mio bew	
	7	コーリュブンゲン31～34 コンコーネ3 あかとんぼ	
	8	コーリュブンゲン35～38 コンコーネ4 夕やけこやけ	
	9	コーリュブンゲン39～42 コンコーネ5 七つの子 花	
	10	コーリュブンゲン48～50 コンコーネ7 母さんの歌 夢路より	
	11	コーリュブンゲン51～53 コンコーネ8 あの素晴らしい愛をもう一度 我は海の子	
	12	コーリュブンゲン54～57 コンコーネ9 月の砂漠 この道	
	13	コーリュブンゲン58～60 コンコーネ10,11 さくら	
	14	コーリュブンゲン58～60 コンコーネ10,11 1月1日	
	15	コーリュブンゲン31～60 コンコーネ3～11 雪の降るまち	
	16		

評価方法				
評 価 基 準	新 評 価 A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
単位認定				
参 考 図 書	教科書及び	書籍名	著者名	発行所

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	カウンセリング Seminar on Counseling	学年	2
講師名	山元 隆子	単位数	1
		コマ数	15
教科目標 カウンセリング理論を基にロールプレイング等演習を行う。			
講 義 内 容	1	クライアントの理解①	
	2	クライアントの理解②	
	3	カウンセラーの態度	
	4	クライアントの態度	
	5	カウンセリングの技法①	
	6	カウンセリング技法演習①	
	7	カウンセリングの技法②	
	8	カウンセリング技法演習②	
	9	グループ演習とは	
	10	事例研究	
	11	視聴覚演習①	
	12	視聴覚演習②	
	13	ロールプレイ①	
	14	ロールプレイ②	
	15	ロールプレイ③	
	16		

評価方法		
評 価 基 準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	点字・手話 Sign Language Braille	学年	3
講師名	立石 みく	単位数	1
		コマ数	15
<p>教科目標</p> <p>視覚障害者に対する理解を深めるため、コミュニケーション手段の一つである点字の基礎を学ぶ。</p>			
講 義 内 容	1	点字の歴史・概論、点字の基本	
	2	語の書き表し方① 仮名遣い	
	3	語の書き表し方② 数字と数字を含む語	
	4	語の書き表し方③ アルファベット、外国語	
	5	語の書き表し方④ 間違いやすい仮名遣い	
	6	分かち書き① 文節分かち書き	
	7	分かち書き② 複合語	
	8	分かち書き③ 固有名詞	
	9	記号類① 記号・符号の種類	
	10	記号類② 囲み符号の使い方	
	11	点字を読む(点字プリント)	
	12	書き方の形式① 本文の書き方	
	13	書き方の形式② 案内文・手紙文の書き方	
	14	手紙を書き、返事を書く。点字タイプ・パソコン点字体験	
	15	視覚障害者の点字使用状況、点字をめぐる社会	
	16		

評価方法			
評 価 基 準	新 評 価 A (G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
		単位認定	
参 考 図 書	書籍名	著者名	
			発行所

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	人体の構造と機能及び疾病 The structure, function, and illness of a human body			学年	1
講師名	佐藤 慶知	単位数	1	コマ数	15
教科目標					
人の成長と発達、疾病・障害の概要、国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方を学ぶ。					
講 義 内 容	1	人体の構造・機能			
	2	一般臨床医学			
	3	医学的リハビリテーションの概要			
	4	現代社会と疾病①			
	5	現代社会と疾病②			
	6	現代社会と疾病③			
	7	現代社会と疾病④			
	8	講習衛生の概要①			
	9	講習衛生の概要②			
	10	講習衛生の概要③			
	11	講習衛生の概要④			
	12	保健医療対策の現状			
	13	医事法制と保健・医療機関及び専門職			
	14	医事法制と保健・医療機関及び専門職			
	15	医事法制と保健・医療機関及び専門職			
	16				

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	心理学理論と心理的支援 Psychology the theory and psychologic support			学年	1	
講師名	小林 郁生		単位数	2	コマ数	15
教科目標						
心理学の概要を理解させ、人間理解とその技法の基礎と概要について理解させる。						
講 義 内 容	1	欲求・動機付けと行動				
	2	感情・情動				
	3	感覚・知覚・認知				
	4	学習・記憶・思考				
	5	知能・創造性				
	6	人格				
	7	適応と適応異常				
	8	人間の成長・発達と心理				
	9	精神分析				
	10	行動分析				
	11	測定と診断①				
	12	測定と診断②				
	13	測定と診断③				
	14	心理療法①				
	15	心理療法②				
	16					

評価方法		
評価 基準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参考 図書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	社会理論と社会システム A social theory and a social system	学年	3
講師名	高杉 学志	単位数	1
		コマ数	15
教科目標			
現代社会及び生活の理解、人と社会の関係を学び、社会問題を理解する。			
講 義 内 容	1	社会システム	
	2	法と社会システム	
	3	経済と社会システム	
	4	社会変動	
	5	人口からみた社会変動	
	6	生活の捉え方	
	7	家族 地域	
	8	社会的行為	
	9	社会的役割	
	10	社会集団と組織	
	11	社会的ジレンマ	
	12	社会関係資本と社会的連帯	
	13	社会問題の捉え方	
	14	日本社会と社会問題	
	15	共生社会と権利	
	16		

評価方法		
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参考図書	教科書及び	
	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	低所得者に対する支援と生活保護制度	学年	2
講師名	高杉 学志	単位数	2
		コマ数	15
教科目標 低所得者の生活実態とそれを取り巻く社会情勢、福祉需要、自立支援プログラム等について理解する。			
講 義 内 容	1	公的扶助の概念	
	2	貧困低所得者問題と社会的排除	
	3	公的扶助制度の歴史	
	4	生活保護制度の仕組み	
	5	生活保護基準と最低生活保障水準	
	6	生活保護の動向	
	7	低所得対策	
	8	生活保護の運営実施体制	
	9	生活保護関係機関・団体	
	10	生活保護受給者に対する相談援助	
	11	低所得者に対する相談援助	
	12	他機関との連携・協働	
	13	保健医療との連携	
	14	自立支援プログラムの目的	
	15	自立支援プログラムの実際	
	16		

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A G P A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	地域福祉の理論と方法			学年	3
講師名	佐々木 明美	単位数	4	コマ数	30
教科目標					
地域福祉の基本的な考え方、組織、団体、専門職の役割等について理解する。					
講 義 内 容	1	地域福祉の基本的な考え方			
	6	地域福祉の主体と福祉教育			
	7	地域福祉の主体と福祉教育			
	8	行政組織と民間組織の役割と実際			
	15	コミュニティワーク			
	～				
	26				
	27	地域トータルケアシステム			
	28	地域トータルケアシステム			
	29	地域における福祉サービスの評価			
	30	地域における福祉サービスの評価			

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	学年	2
講師名	伊藤 宏二	単位数	2
		コマ数	15
<p>教科目標</p> <p>障害者を取り巻く現状を理解すると共に、障害者にかかわる法体系、障害者自立支援制度について学ぶ。</p>			
講 義 内 容	1	障害者を取り巻く社会情勢	
	2	障害者の生活実態	
	3	精神障害者にかかわる法体系	
	4	身体障害者にかかわる法体系	
	5	知的障害者にかかわる法体系	
	6	障害者自立支援制度①	
	7	障害者自立支援制度②	
	8	障害者自立支援制度③	
	9	組織・機関の役割①	
	10	組織・機関の役割②	
	11	専門職の役割と実際①	
	12	専門職の役割と実際②	
	13	専門職の役割と実際③	
	14	他職種連携・ネットワーキング①	
	15	他職種連携・ネットワーキング②	
	16		

評価方法			
評 価 基 準	新 評 価 A G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
参 考 図 書	書籍名	著者名	
			発行所

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	社会保障 Theory of social security	学年	3
講師名	高島 徹	単位数	4
		コマ数	30
教科目標			
社会保障の理念と意義、わが国の社会保障制度の概要を学ぶ。			
講 義 内 容	1	社会保障の歴史	
	2	社会保障の理念と目的	
	3	社会保障の機能と問題	
	4	所得保障制度①	
	5	所得保障制度②	
	6	年金制度①	
	7	年金制度②	
	8	年金制度③	
	9	介護保険制度①	
	10	介護保険制度②	
	11	労働者災害保険	
	12	雇用保険制度①	
	13	雇用保険制度②	
	14	社会保障制度の課題①	
	15	社会保障制度の課題②	

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	教科書及び	
	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	社会保障 Theory of social security	学年	3
講師名	高島 徹	単位数	4
		コマ数	30
教科目標			
講 義 内 容	16	社会保障制度の課題③	
	17	医療保険制度①	
	18	医療保険制度②	
	19	医療保険制度③	
	20	介護保険制度③	
	21	介護保険制度④	
	22	介護保険制度⑤	
	23	介護保険制度⑥	
	24	民間の保険制度①	
	25	民間の保険制度②	
	26	社会保障制度の課題④	
	27	精神保健福祉士試験対策①	
	28	精神保健福祉士試験対策②	
	29	精神保健福祉士試験対策③	
30	精神保健福祉士試験対策④		

評価方法		
評 価 基 準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	教科書及び	
	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	権利擁護と成年後見制度Right protection and an adult guardianship system	学年	2
講師名	高杉 学志	単位数	2
		コマ数	15
<p>教科目標</p> <p>社会的排除、相談援助活動、成年後見制度や行政や民法との関わりについて理解する。</p>			
講 義 内 容	1	相談援助活動と法とのかかわり①	
	2	相談援助活動と法とのかかわり②	
	3	相談援助活動と法とのかかわり③	
	4	成年後見制度①	
	5	成年後見制度②	
	6	成年後見制度③	
	7	日常生活支援事業	
	8	成年後見制度利用支援事業	
	9	権利擁護にかかわる組織と団体	
	10	権利擁護にかかわる専門職の役割	
	11	成年後見活動の実際①	
	12	成年後見活動の実際②	
	13	権利擁護活動の実際①	
	14	権利擁護活動の実際②	
	15	権利擁護活動の実際③	
	16		

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	保健医療サービス Health and Medical Service	学年	3
講師名	中川 広大	単位数	2
		コマ数	15
<p>教科目標</p> <p>保健医療サービスの変化と社会福祉専門職の役割及び連携と実践等について学ぶ。</p>			
講 義 内 容	1	保健医療サービスと構成要素	
	2	保健医療サービスの整備・拡充の歴史	
	3	医療法改正と保健医療サービスの課題	
	4	医療連携、チーム医療とPSW	
	5	医療施設の機能・類型	
	6	診療報酬による医療施設の基準・類型	
	7	介護施設の基準・類型	
	8	在宅支援システム	
	9	医療ソーシャルワーカーの役割	
	10	医療ソーシャルワーカーの業務	
	11	医療ソーシャルワーカーの業務	
	12	保健医療サービス専門職の役割	
	13	保健医療サービスの提供と経済的保証	
	14	保健医療サービスの連携の理論と実践	
	15	保健医療サービスの連携の理論と実践	
	16		

評価方法			
評 価 基 準	新 評 価 A （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
参 考 図 書	書籍名	著者名	
			発行所

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	福祉行財政と福祉計画			学年	3
講師名	高杉 学志	単位数	2	コマ数	15
教科目標					
福祉の行財政の実施体制や福祉計画の意義、目的、主体、方法、留意点等について理解する。					
講 義 内 容	1	福祉計画と福祉行財政			
	2	福祉行政			
	3	福祉財政			
	4	福祉援助の実施・提供機関			
	5	福祉行財政と福祉計画			
	6	福祉計画の目的と意義			
	7	福祉計画の主体			
	8	福祉計画の過程			
	9	福祉計画の策定方法と留意点			
	10	福祉計画の評価方法			
	11	福祉計画の種類			
	12	福祉計画の実際			
	13	"			
	14	"			
	15	"			
	16				

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A (G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	精神疾患とその治療 Mental disorders and treatment	学年	3
講師名	荒島 真一郎	単位数	4
		コマ数	30
<p>教科目標</p> <p>精神医学の歴史と概念、代表的な精神障害や診断法、治療法について学ぶ。</p>			
講 義 内 容	1	精神医学、精神医療の歴史	
	3	脳及び神経の生理、解剖	
	5	精神医学の概念①	
	7	精神医学の概念②	
	9	診断法①	
	11	診断法②	
	13	体表的な精神障害①	
	15	体表的な精神障害②	
	17	体表的な精神障害③	
	19	体表的な精神障害④	
	21	治療法①	
	23	治療法②	
	25	治療法③	
	27	病院精神医療及び地域精神医療①	
30	病院精神医療及び地域精神医療②		

評価方法		
評 価 基 準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	教科書及び	
	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	精神保健の課題と支援			学年	3
講師名	小林 郁生	単位数	4	コマ数	30
<p>教科目標</p> <p>精神保健の基礎知識を習得し、ライフサイクルや地域保健の関連において理解を深める。また、今後の精神保健のあり方を考える。</p>					
講 義 内 容	1	精神保健についての基礎知識			
	2	ライフサイクルにおける精神保健			
	3	青年期から老年期			
	4	精神障害者対策			
	5	老人性痴呆疾患対策			
	6	アルコール関連問題			
	7	薬物乱用問題			
	8	思春期精神保健対策			
	9	地域精神保健対策			
	10	家庭における精神保健活動			
	11	DV・中高年自殺			
	12	学校における精神保健活動			
	13	職場における精神保健活動			
	14	リストカット思春期特有の精神保健について			
	15	振り返りと国試問題			
	16				

評価方法				
評 価 基 準	新 評 価 A (G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
		単位認定		
参 考 図 書	教科書及び	書籍名	著者名	発行所

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	精神保健の課題と支援			学年	3
講師名	小林 郁生	単位数	4	コマ数	30
教科目標					
講 義 内 容	16	地域精神保健と地域保健			
	18	関連法規			
	20	関連施策			
	22	諸外国における精神保健①			
	26	諸外国における精神保健②			
	28	EAP			
	29	精神保健福祉の現場から			
	30	振り返りと国試問題			

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書 教 科 書 及 び	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	手作り布おもちゃ			学年	3	
講師名	佐藤 慶知	立石みく	単位数	1	コマ数	15
教科目標						
布の素材感をいかし手作りのおもちゃの製作に取り組む。						
講 義 内 容	1	布おもちゃの製作①				
	2	布おもちゃの製作②				
	3	布おもちゃの製作③				
	4	布おもちゃの製作④				
	5	布おもちゃの製作⑤				
	6	布おもちゃの製作⑥				
	7	布おもちゃの製作⑦				
	8	布おもちゃの製作⑧				
	9	布おもちゃの製作⑨				
	10	布おもちゃの製作⑩				
	11	布おもちゃの製作⑪				
	12	布おもちゃの製作⑫				
	13	布おもちゃの製作⑬				
	14	布おもちゃの製作⑭				
	15	布おもちゃの製作⑮				
	16					

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A (G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	伝承遊び・手遊び・わらべ歌 Traditional Play			学年	1
講師名	鈴木 紘子	単位数	1	コマ数	15
教科目標					
子どもの発達と絵本や紙芝居などに関する知識と技術を学び、子どもの経験や様々な表現活動と児童文化財とを結びつけた遊びの展開について学ぶ。					
講 義 内 容	1	わらべうたとは			
	2	文化の伝承と言語			
	3	わらべうたの持つ音楽性			
	4	わらべうたの持つ音楽性的諸要素			
	5	わらべうたと集団性			
	6	人育てとしてのわらべうた			
	7	1～3ヶ月の発育とわらべうた			
	8	3～6ヶ月の発育とわらべうた			
	9	5～8ヶ月の発育とわらべうた			
	10	8～12ヶ月の発育とわらべうた			
	11	1～1.5才の発育とわらべうた			
	12	1.5～2才の発育とわらべうた			
	13	お手玉			
	14	けんだま			
	15	竹返し			
	16				

評価方法			
評 価 基 準	新 評 価 A (G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
		単位認定	
参 考 図 書	書籍名	著者名	
			発行所

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	マジックスクール Class of Jugglery			学年	1	
講師名	佐藤 慶知	立石みく	単位数	1	コマ数	8
教科目標						
講 義 内 容	1	レクリエーションとしてのマジックとは				
	2	子どものマジック実践①とポイント				
	3	子どものマジック実践②とポイント				
	4	子どものマジック実践③とポイント				
	5	高齢者のマジック実践①とポイント				
	6	高齢者のマジック実践②とポイント				
	7	高齢者のマジック実践③とポイント				
	8	まとめ				
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					

評価方法				
評 価 基 準	新 評 価 A G P A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
参 考 図 書	書籍名		著者名	発行所

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	作って遊ぼう	Let's Play by Creating	学年	1	
講師名	佐藤 慶知	立石みく	単位数	1	
コマ数					
15					
教科目標					
廃材を使っておもちゃの製作・遊びや季節の壁面製作に取り組む。					
講 義 内 容	1	春の壁面製作			
	2	牛乳パックを使った製作遊び			
	3	こどもの日の製作遊び			
	4	夏の壁面製作			
	5	七夕製作			
	6	ラップの芯を使った製作遊び			
	7	秋の壁面製作			
	8	敬老の日の製作遊び			
	9	自然物を使った製作遊び			
	10	冬の壁面施策			
	11	クリスマスの製作遊び			
	12	節分の製作遊び			
	13	ひな祭りの製作遊び			
	14	誕生表製作①			
	15	誕生表製作②			
	16				

評価方法				
評 価 基 準	新 評 価 A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
		単位認定		
参 考 図 書	教科書及び	書籍名	著者名	発行所

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	あそびのシアター Paper Folding and Theater of Play	学年	3
講師名	須田 梢	単位数	1
		コマ数	15
教科目標 ハンカチシアター、紙コップシアター、ペーパーバッグシアター等、様々なシアターを学び、制作し、実演する。			
講 義 内 容	1	あそびのシアターとは	
	2	シアターの計画	
	3	シアターの制作	
	4	シアターの制作	
	5	シアターの制作	
	6	シアターの制作	
	7	シアターの制作	
	8	シアターの制作	
	9	シアターの制作	
	10	シアターの制作	
	11	シアターの制作	
	12	シアターの制作	
	13	作品・指導案提出	
	14	実技試験	
	15	実技試験	
	16		

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A G P A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	お遊戯 The Child's Play			学年	2	
講師名	佐藤 慶知	立石みく	単位数	1	コマ数	15
教科目標						
各年齢の発達段階にそった動きや表現方法、曲の選定や衣装、道具の製作や効果的な使用について学習する。						
講 義 内 容	1	発達段階と表現の理解①				
	2	発達段階と表現の理解②				
	3	小道具、衣装の効果的な演出方法①				
	4	0,1,2歳児の遊戯のポイント				
	5	0,1,2歳児遊戯実践①				
	6	0,1,2歳児遊戯実践②				
	7	3歳児遊戯実践③				
	8	小道具、衣装の効果的な演出方法②				
	9	発達段階と表現の理解③				
	10	4,5歳児遊戯のポイント～体系チェンジと時間差				
	11	4歳児遊戯実践①				
	12	4歳児遊戯実践②				
	13	5歳児遊戯実践①				
	14	5歳児遊戯実践②				
	15	子どものよさこい実践				
	16					

評価方法		
評価 基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参考 図書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	福祉事務管理 Welfare Clerical Work Management	学年	2
講師名	伊藤 宏二	単位数	3
		コマ数	23
教科目標 社会保障制度全般について学び、介護保険制度の理解や介護保険医療請求事務についての理解を深める。			
講 義 内 容	1	社会保障制度の概要	
	2	社会福祉制度の概要	
	3	社会福祉従事者の概要と資格制度	
	4	社会福祉従事者の活動している分野	
	5	社会福祉従事者の職場、職種、仕事内容	
	6	社会福祉従事者の専門性と倫理	
	7	保健、医療関係分野の専門職との連携	
	8	社会福祉援助技術の体系と方法	
	9	社会福祉援助技術の目的と概念	
	10	社会福祉援助技術の方法	
	11	社会福祉援助技術と活動の動向	
	12	少子、高齢社会への対応	
	13	社会福祉基礎構造改革の進展	
	14	試験対策①	
	15	試験対策②	
	16		

評価方法		
評 価 基 準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	障がい者スポーツ論 Theory of sports for the disabled	学年	3
講師名	齋藤 雄大	単位数	2
		コマ数	15
教科目標			
障害者スポーツの全般について学びその必要性、役割について理解を深める。			
講 義 内 容	1	障害者福祉対策と障害者スポーツ	
	3		
	5	ボランティア論	
	7		
	9	障害者スポーツの意義と理念	
	11		
	13	安全管理	
	15	障害の理解とスポーツ	
	17		
	19		
	21	障害者スポーツの指導者制度	
	23		
	25	全国障害者スポーツ大会の概要	
	27	実技	
	30		
16			

評価方法		
評価基準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参考図書	教科書及び	
	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	保育実習 事前指導			学年	2
講師名	佐藤 慶知	単位数	1	コマ数	15
教科目標					
実習生としての基本的な心構え、マナーを身につけ実習に対する問題意識を高める。試験及び提出物によって評価する。					
講 義 内 容	1	保育実習の意義			
	2	保育所生活の実際			
	3	保育所で生活する乳幼児の姿			
	4	保育所における子育て支援の実際			
	5	地域・課程との連携①			
	6	地域・課程との連携②			
	7	指導計画の実際			
	8	保育実習の遊びの指導①			
	9	保育実習の遊びの指導②			
	10	保育実習の遊びの指導③			
	11	月案・週案・日案			
	12	実習日誌について			
	13	幼児との関わりについて①			
	14	幼児との関わりについて②			
	15	今後の保育所の課題について			
	16				

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A G P A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	精神保健福祉の理論と相談援助の展開			学年	1
講師名	伊藤 宏二	単位数	8	コマ数	45
教科目標					
社会福祉サービス及び医療を利用する方の人権と自己決定を尊重する精神保健福祉士の専門性に基づき、その専門的援助活動の目的や価値並びに体系などについて、具体的事例を通して理解する。					
講 義 内 容	1	オリエンテーション・障害者福祉の理念			
	2	障害および障害者			
	3	障害者福祉の基本施策			
	4	現代社会と精神障害者			
	5	精神障害者の権利擁護			
	6	精神医療における権利擁護			
	7	インフォームド・コンセント			
	8	地域社会における精神障害者の人権			
	9	精神保健福祉の歴史と理念			
	10	精神保健福祉士の意義			
	11	精神保健福祉士の対象			
	12	精神保健福祉士の専門性と倫理			
	13	精神障害者にとっての障壁			
	14	相談援助活動の方法①			
	15	相談援助活動の方法②			
	16				

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	精神保健福祉の理論と相談援助の展開			学年	1
講師名		単位数	8	コマ数	45
教科目標					
講 義 内 容	16	精神保健福祉法の意義と内容			
	17	精神保健福祉士法の意義と内容			
	18	精神保健福祉行政			
	19	精神保健福祉に関する行政組織			
	20	精神保健福祉にかかわる公的負担制度			
	21	精神保健福祉施策の課題			
	22	社会復帰施策(精神障害者のリハビリテーション)			
	23	精神障害者の保健福祉に関わる専門職との連携			
	24	精神保健福祉の関連施策－雇用－			
	25	精神保健福祉の関連施策－所得保障－			
	26	精神保健福祉の関連施策－経済負担の軽減－			
	27	精神保健福祉の関連施策－生活環境の改善－			
	28	過去の国家試験問題の解説			
	29	ワークブックでの国家試験対策Ⅰ			
	30	ワークブックでの国家試験対策Ⅱ			
16					

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A (G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	精神保健福祉の理論と相談援助の展開			学年	1
講師名		単位数	8	コマ数	45
教科目標					
講 義 内 容	31	精神保健福祉に関する行政組織			
	32	精神保健福祉にかかわる公費負担制度			
	33	精神保健福祉施策の課題			
	34	社会復帰施策の現状			
	35	精神保健福祉の関連法の概要			
	36	医療保険制度			
	37	雇用・就労			
	38	所得保障			
	39	経済負担の軽減			
	40	生活環境の改善			
	41	精神保健福祉の到達点とこれから			
	42	市町村精神保健福祉と精神障害者			
	43	地域生活支援			
	44	精神保健福祉の新たな展開			
	45	国家試験対策			
16					

評価方法				
評 価 基 準	新 評 価 A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
		単位認定		
参 考 図 書	教科書及び	書籍名	著者名	発行所

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	精神保健福祉活動を支える制度・サービス	学年	3
講師名	田中 幸太	単位数	4
		コマ数	30
教科目標 精神障害者の相談援助活動と法、支援に関連する制度及びサービス、施設、団体、関連機関等について理解し、社会調査の基礎的な知識を理解する。			
講 義 内 容	1	精神障害者の相談援助活動	
	2	精神保健福祉法に関する制度	
	3	精神保健福祉法成立の経緯	
	4	障害者自立支援法による変化	
	5	精神保健福祉法の概要	
	6	精神保健福祉士の役割	
	7	障害者基本法と精神障害者施策	
	8	障害者自立支援法	
	9	精神障害者の福祉施策・事業の実際	
	10	社会保険制度と社会福祉制度	
	11	医療・介護保険制度	
	12	相談援助に係わる組織・団体	
	13	更正保護制度と精神保健福祉	
	14	医療観察法の概要と意義	
	15	社会資源の調整・開発	
	16		

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	精神障害者の生活支援システム	学年	2
講師名	小室 範明	単位数	2
		コマ数	15
教科目標 精神障害者の生活支援の意義と特徴、職業リハビリテーションの概念及び就労支援に関する制度・施策と相談援助活動について理解する。			
講 義 内 容	1	精神障害者の概念	
	2	障害者基本法・精神保健福祉法における障害	
	3	精神障害者の現状と家族の現状	
	4	精神障害者と地域社会	
	5	精神障害者の生活と人権	
	6	地域社会における精神障害者の人権	
	7	精神障害者の自立と社会参加	
	8	相談援助	
	9	雇用・就労	
	10	余暇活動	
	11	地域生活支援システムの実際	
	12	精神障害者の居住支援	
	13	雇用・就業支援体制	
	14	福祉的就労における支援の実際	
	15	行政による相談援助	
	16		

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	精神保健福祉相談援助の基盤(基礎)			学年	1
講師名	橋本 清孝	単位数	2	コマ数	15
<p>教科目標</p> <p>精神保健福祉士の役割(総合的包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発を含む)と意義について理解する。</p>					
講 義 内 容	1	精神保健福祉士制度化の歩み			
	2	精神保健福祉士の専門性			
	3	社会福祉士及び介護福祉士法における位置づけ			
	4	社会福祉士の専門性			
	5	社会福祉士の役割と精神保健福祉士との協働			
	6	相談援助の定義			
	7	相談援助活動の定義と概念			
	8	相談援助の理念と価値①			
	9	相談援助の理念と価値②			
	10	相談援助における権利擁護の意義			
	11	相談援助における権利擁護の範囲			
	12	精神障害者の人権擁護			
	13	精神保健福祉士の役割			
	14	専門職倫理			
	15	倫理的ジレンマ			
	16				

評価方法				
評 価 基 準	新 評 価 A (G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
		単位認定		
参 考 図 書	教科書及び	書籍名	著者名	発行所

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	学年	2
講師名	橋本 清孝	単位数	2
		コマ数	15
教科目標 精神保健福祉士が行う相談援助の対象と相談援助の概要について理解し、精神障害者の相談援助に係わる専門職の概念と範囲について学ぶ。			
講 義 内 容	1	相談援助の形成過程	
	2	ソーシャルワークの源流と形成過程	
	3	精神保健福祉分野のソーシャルワーク	
	4	相談援助活動の対象	
	5	相談援助活動の目的と意義	
	6	援助活動の現状	
	7	援助活動の今後の課題	
	8	相談援助専門職の概念	
	9	相談援助専門職の範囲	
	10	総合的・包括的援助を支える理論①	
	11	総合的・包括的援助を支える理論②	
	12	総合的・包括的な援助の機能	
	13	総合的・包括的な援助の概要	
	14	他職種連携の意義と概要	
	15	他職種連携における精神保健福祉士の役割	
	16		

評価方法		
評 価 基 準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	精神保健福祉援助演習(基礎)			学年	2
講師名	佐藤慶知	単位数	2	コマ数	15
教科目標					
精神保健福祉士に求められる相談援助に係わる基礎的な知識技術について実践的に習得すると共に、専門的援助技術として概念化し、理論化し体系化する能力を滋養する。					
講 義 内 容	1	演習の意義			
	2	演習の目的			
	3	演習の方法			
	4	情報・知識の収集・整理			
	5	利用者理解と基本対応			
	6	自己理解と他者理解			
	7	専門職の価値と倫理			
	8	利用者理解の実技			
	9	援助関係の形成の実技			
	10	援助技術の習得			
	11	面接技術			
	12	記録の技術			
	13	地域福祉の基礎整備に係わる技術			
	14	社会資源の活用			
	15	計画策定技法			
	16				

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A (G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	精神保健福祉援助演習(専門)			学年	3
講師名	内田 梓	単位数	2	コマ数	30
教科目標					
具体的な課題別の精神保健福祉援助の事例(集団に対する事例を含む)を活用し、実現に向けた精神保健福祉課題を理解し、援助について実践的に習得する。					
講 義 内 容	1	実践モデルやアプローチ技法			
	2	事例問題 ①			
	3	事例問題 ②			
	4	事例問題 ③			
	5	事例問題 ④			
	6	事例問題 ⑤			
	7	事例問題 ⑥			
	8	事例問題 ⑦			
	9	事例問題 ⑧			
	10	事例問題 ⑨			
	11	事例問題 ⑩			
	12	事例問題 ⑪			
	13	事例問題 ⑫			
	14	事例問題 ⑬			
	15	事例問題 ⑭			
	16				

評価方法		
評 価 基 準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	
	著者名	
	発行所	

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	精神保健福祉援助実習指導 I			学年	2
講師名	佐藤 慶知	単位数	1	コマ数	15
教科目標					
精神保健福祉援助実習の意義について理解し、精神保健福祉援助に係わる知識と技術について具体的且つ实际的に理解し、実践的な技術等を体得する。					
講 義 内 容	1	精神保健福祉援助実習概論			
	2	実習の意義・目的			
	3	実習全体の流れと学習内容			
	4	実習の準備と計画			
	5	事前学習の目的・内容・方法			
	6	精神保健医療福祉の現状			
	7	実習先選定について			
	8	実習先利用者への援助の理解			
	9	実習計画の作成			
	10	精神保健福祉援助の理解と実習			
	11	精神保健福祉士の職業倫理			
	12	精神保健福祉士の法的責務			
	13	スーパービジョン			
	14	実習指定施設の実際①			
	15	実習指定施設の実際②			
	16				

評価方法				
評 価 基 準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
		単位認定		
参 考 図 書	教科書及び	書籍名	著者名	発行所

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ			学年	3
講師名	佐藤 慶知	単位数	2	コマ数	30
教科目標					
精神保健福祉援助実習の意義について理解し、精神保健福祉援助に係わる知識と技術について具体的且つ实际的に理解し、実践的な技術等を体得する。					
講 義 内 容	1	精神保健福祉援助実習概論			
	2	実習の意義・目的			
	3	実習全体の流れと学習内容			
	4	実習の準備と計画			
	5	事前学習の目的・内容・方法			
	6	精神保健医療福祉の現状			
	7	実習先選定について			
	8	実習先利用者への援助の理解			
	9	実習計画の作成			
	10	精神保健福祉援助の理解と実習			
	11	精神保健福祉士の職業倫理			
	12	精神保健福祉士の法的責務			
	13	スーパービジョン			
	14	実習指定施設の実際①			
	15	実習指定施設の実際②			
	16				

評価方法				
評 価 基 準	新 評 価 A G P A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
		単位認定		
参 考 図 書	教科書及び	書籍名	著者名	発行所

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	教育実習 事前事後指導	学年	2
講師名	依田 美富士	単位数	1
		コマ数	15
<p>教科目標</p> <p>幼児教育者として求められる目標を達成するために現場での幼児との関わり方を理解する。</p>			
講 義 内 容	1	幼稚園実習の意義	
	2	実習園についての理解の視点 ①幼稚園生活の実際	
	3	実習園についての理解の視点 ②幼稚園で生活する幼児の姿	
	4	幼稚園における子育て支援の実際	
	5	小学校教育との連携	
	6	地域・課程との連携(行事の捉え方、保護者との関わり)	
	7	指導計画(援助計画)の実際	
	8	指導計画(幼稚園実習の遊びの指導①)	
	9	指導計画(幼稚園実習の遊びの指導②)	
	10	指導計画(幼稚園実習の遊びの指導③)	
	11	指導計画 日案の作成	
	12	実習日誌の意義と取り扱いについて	
	13	幼児の関わり方について	
	14	幼児の関わり方について(実際に関わってみて)	
	15	21世紀へ向けての保育の想像	
	16		

評価方法			
評 価 基 準	新 評 価 A (G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
		単位認定	
参 考 図 書	書籍名	著者名	
			発行所

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	福祉英語 English for Public Welfare	学年	1
講師名	杉浦 直子	単位数	1
		コマ数	8
<p>教科目標</p> <p>福祉英語検定試験4級の合格に必要な英語力の習得。</p>			
講 義 内 容	1	福祉英検について・ボキャブラリシートの説明	
	2	テキストLesson1	
	3	テキストLesson2	
	4	テキストLesson3	
	5	テキストLesson4	
	6	テキストLesson5	
	7	テキストLesson6	
	8	テキストLesson7	
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		

評価方法			
評 価 基 準	新 評 価 A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
参 考 図 書	教科書及び	書籍名	著者名
	参考図書		

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	健康・生きがいづくり総論			学年	1
講師名	佐藤 慶知	単位数	2	コマ数	30
教科目標					
中高年の健康生きがいづくりの包括概念を学ぶ。					
講 義 内 容	1	現代社会と中高年と健康生きがいづくり			
	2				
	3	生きがい情報士とは			
	4	社会参加			
	5	ボランティア			
	6	高齢者の雇用と企業の中高年対策			
	7	高齢者雇用の課題			
	8	中高年の健康づくり			
	9	健康づくり施策等			
	10	中高年と余暇			
	11	余暇生活支援			
	12	金融～税金			
	13	金融～年金			
	14	健康相談(食生活、運動、休養)			
	15	健康相談(喫煙、飲酒、生活習慣病)			
	16				

評価方法				
評 価 基 準	新 評 価 A (G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
		単位認定		
参 考 図 書	教科書及び	書籍名	著者名	発行所

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	健康・生きがいづくり総論			学年	1
講師名	佐藤 慶知	単位数	2	コマ数	30
教科目標					
講 義 内 容	16	福祉相談			
	17	介護保険			
	18	自己覚知と援助関係			
	19	ネットワークの分析と社会資源の活用			
	20	集団援助技術の基礎			
	21	集団援助技術の展開			
	22	地域参加援助技術			
	23	地域参加の援助活動			
	24	ニードと社会資源			
	25	広報技術			
	26	イベント技術(その組み立て方)			
	27	中高年とイベント			
	28	ライフプラン基礎知識			
	29	ライフプラン技術			
	30	まとめ			
16					

評価方法				
評 価 基 準	新 G P A 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
参 考 図 書	書籍名		著者名	発行所

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	福祉住環境論			学年	3
講師名	小野田 弘	単位数	1	コマ数	15
教科目標					
福祉住環境コーディネーター資格取得の為の学習をする。					
講 義 内 容	1	少子高齢化社会の現状と課題			
	2	地域社会・社会全体の取り組みの必要性			
	3	高齢者の自立を支える介護保険制度			
	4	障がい者自立支援法の仕組み			
	5	高齢者の健康と自立①			
	6	高齢者の健康と自立②			
	7	障がい者が生活の不自由を克服する道			
	8	バリアフリーとユニバーサルデザインの考え方			
	9	ユニバーサルデザインとこれからの社会			
	10	生活を支える様々な用具			
	11	福祉用具			
	12	住まいの整備のための基本技術			
	13	生活行為別にみる安全・安心・快適な住まい			
	14	ライフスタイルの多様化と住まい			
	15	安心できる住環境・安心して暮らせるまちづくり			
	16				

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A (G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
		単位認定
参 考 図 書	書籍名	著者名
	発行所	

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	レクリエーション Recreation	学年	1
講師名	佐藤 洋子	単位数	1
		コマ数	15
教科目標 多くの種類の遊びやゲームを通して、レクリエーションの理論を学ぶ。			
講 義 内 容	1	レクリエーションとは何か①	
	2	レクリエーションとは何か②	
	3	レクリエーション指導の構造①	
	4	レクリエーション指導の構造②	
	5	レクリエーション指導の対象と領域①	
	6	レクリエーション指導の対象と領域②	
	7	グループレクリエーションの目的と場面①	
	8	グループレクリエーションの目的と場面②	
	9	レクリエーション組織の経営論①	
	10	レクリエーション組織の経営論②	
	11	レク・プログラムの企画運営①	
	12	レク・プログラムの企画運営②	
	13	レク・プログラムの広報とPR①	
	14	レク・プログラムの広報とPR②	
	15	レク・プログラムの広報とPR③	
	16		

評価方法			
評 価 基 準	新 評 価 A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	} 単位認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	レク理論 Recreation Theory	学年	1
講師名	佐藤 慶知	単位数	1
		コマ数	15
教科目標 レクリエーションの歴史や具体的な指導法について理論的に学ぶ。			
講 義 内 容	1	レクリエーションとは何か①	
	2	レクリエーションとは何か②	
	3	レクリエーション指導の構造①	
	4	レクリエーション指導の構造②	
	5	レクリエーション指導の対象と領域①	
	6	レクリエーション指導の対象と領域②	
	7	グループレクリエーションの目的と場面①	
	8	グループレクリエーションの目的と場面②	
	9	レクリエーション組織の経営論①	
	10	レクリエーション組織の経営論②	
	11	レク・プログラムの企画運営①	
	12	レク・プログラムの企画運営②	
	13	レク・プログラムの広報とPR①	
	14	レク・プログラムの広報とPR②	
	15	レク・プログラムの広報とPR③	
	16		

評価方法			
評 価 基 準	新 評 価 A G P A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
		単位認定	
参 考 図 書	書籍名	著者名	
			発行所

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	自然と遊ぼう・レク			学年	1
講師名	立石 みく	単位数	15	コマ数	8
教科目標					
身近な花や昆虫の名前や飼育方法など、自然に関する知識を深め、子どもたちの興味関心や探求心を刺激するなど保育実践の中に生かす。					
講 義 内 容	1	春自然を見つけよう①			
	2	春自然を見つけよう②			
	3	夏の製作・水遊び①			
	4	夏の製作・水遊び②			
	5	秋の自然と製作あそび①			
	6	秋の自然と製作あそび②			
	7	雪遊び①			
	8	雪遊び②			
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				

評価方法				
評 価 基 準	新 評 価 A G P A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
参 考 図 書	書籍名		著者名	発行所

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	作業音楽療法・レク			学年	3
講師名		単位数	1	コマ数	8
教科目標					
音楽を通じたリハビリテーションの機能や理論のついて実践的に学ぶ。					
講 義 内 容	1	春自然を見つけよう①			
	2	春自然を見つけよう②			
	3	夏の製作・水遊び①			
	4	夏の製作・水遊び②			
	5	秋の自然と製作あそび①			
	6	秋の自然と製作あそび②			
	7	雪遊び①			
	8	雪遊び②			
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 A G P A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定

＜2019年度 こども保育学科 シラバス＞

科目名	幼児体育指導			学年	3
講師名	竹花 理恵子	単位数	1	コマ数	8
教科目標					
幼児における運動の必要性と運動と発達の関係について学ぶ。また、運動指導の際の安全についても学ぶ。					
講 義 内 容	1	運動器の機能向上			
	2	実践プログラム			
	3	口腔機能の向上			
	4	実践プログラム			
	5	認知症の予防・支援			
	6	閉じこもりの予防・支援			
	7	うつの予防・支援			
	8	実践プログラム			
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				

評価方法		
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
参 考 図 書	書籍名	著者名

単位認定